



8月 保育通信

2024年7月20日
天使ベビーセンター

—第5号—

セミの声が聞こえはじめ、子どもたちが育てている夏野菜もおいしそうに実っています。暑さ負けず子どもたちは水遊びやプール遊びなど汗をキラキラ輝かせながら楽しんでます。感染症や暑さにも配慮しながら夏ならではの遊びや自然の中での様々な発見を子どもたちと思いきり楽しみたいと思います。遊んだ後は全身を清潔にし、ゆっくりと体を休めて、この夏を元気に乗り切りたいと思います。



8月のキリスト教保育

主 題 “平和を祈る”

- 子どもの姿
- 身近なことから平和を考え、祈り、世界にも目を向けていく
 - ゆったりとした時間の中で自分のやりたいことに取りくむ。
互いの思いを聞き合って過ごす
 - 暑さの中でも涼しい時間や場所を見つけ、水分補給や服装に気を付けて過ごす



8月の聖句「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」
(マタイによる福音書 7章 12節)

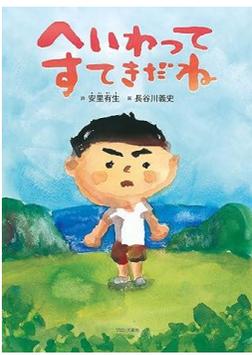
8月の行事予定

日	曜日	行事予定	備考(職員)
2	金		学童キャンプ～3日/新規採用保育者研修
4	日	教会にて平和を覚える礼拝	
13	火	夏期休園	
14	水		
15	木		
19	月	5歳児礼拝	2・5歳クラスフリー/千里金蘭大学実習生～30日
20	火		1・4歳クラスフリー
21	水	誕生日会/言語聴覚士 訪問支援	3歳クラスフリー
22	木		第三者会議
23	金	避難訓練(地震)	
29	木		相談援助研修②
30	水		
31	木		



持ち物に名前 書いてありますか？

持ち物には必ず、名前を書いて下さい。消えかけているものもありますので、一度確認をしてみてください。また、汗をかいて着替えも多くなりますので着替えの補充もお願いします。



へいわってなあに？

「貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを楽しむことができるようにする」持続可能な社会を目指し、2030年を達成目標としたSDGsが国連から提案されたのが2015年。もう9年も前のこと。

2024年の夏も世界で巨大な暴力が振るわれ続けています。ウクライナとロシアの戦争は平和的解決への糸口が見えず、イスラエルとパレスチナのハマスが率いる武装集団との戦争が続き、軍人や市民、子どもたちが尊い命を失っています。



～わたしたちにできること～



日本は、79年前の8月6日に広島、9日には長崎に原爆が投下され、15日に長い戦争に終止符をうち、終戦を迎えました。国は再び戦争が起こることのないことを約束し、この日を終戦記念日としました。今の『平和』な日本は、『戦争』を経験した方々の「平和を取り戻したい」「二度とあの惨劇を繰り返さない」という決意と努力の上に築かれています。『平和』を守っていくためには、2度と戦争を起こしてはなりません。『戦争』を起こせば、互いに加害者となり、人と人が互いの命を傷つけ殺めることになります。日本では実際に戦争を経験した方が少なくなってきましたが、79年前何があったのか、どれだけの尊い命が理不尽に奪われてしまったのか、日本が空襲を受け、人類史上唯一の原子爆弾の被災国となったことを、戦後に生まれ、平和な日常が当たり前の世の中で過ごしてきた私を含めその時代を知らない世代の者は、自ら知ろうと意識し、その事実について考え、そして伝えていくことを忘れてはいけません。



戦争だけでなく、飢餓のこと、災害で窮地に追い込まれて苦しみの中にある人たち、明日への希望を持つこともできずにいる人たち、増加し続ける貧困家庭のこと、私たち自身の周りにも何かしらの手助けを必要としている人たちがたくさんおられるという現実に関心になることなく、自分にできることを考え行動し、身近なところから小さな『平和』を創り出していくことが大切だと考えます。

『平和』は戦争のない世界だけでなく、日常のさりげない瞬間に存在しているのだと思います。自分のことだけでなく他者を大切に思いやり愛することが『平和』を創り出すことにつながっていくと信じて保育しています。

世界中の人々が一日でも早く笑顔で、多様性を受け入れ、武器や暴力でなく、対話で解決をしていく社会を創り出すことができるよう祈りをささげたいと思います。そして、子どもたちが将来平和を創り出す人になってほしいとの願いをこめて、年齢に合わせて『平和』について伝えていきたいです。

8月、ご家庭でも平和に関する絵本を広げて親子で一緒に考えてみませんか。